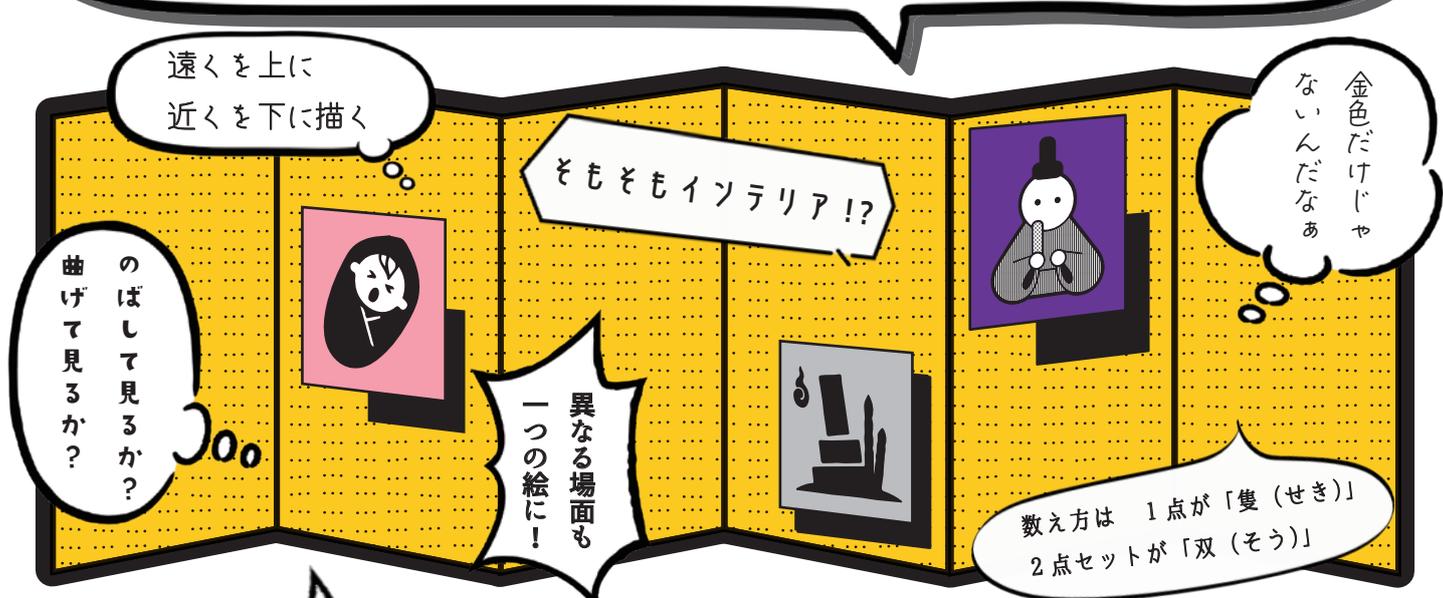


榊原悟特任館長の「屏風のはなし」



講師 榊原悟

(岡崎市美術博物館特任館長)

屏風研究の第一人者。1948年西尾市生まれ。元サントリ美術館主席学芸員。主な著書に『屏風と日本人』(敬文舎、2018年)、『美の架け橋―異国に遣わされた屏風たち』(ベリかん社、2002年、芸術選奨文部科学大臣賞)など。

場所 当館1階セミナールーム  
定員 50名(応募多数の場合は抽選)

ただし全4回の講座に出席できること)

参加費 無料

時間は各回とも午後2時から午後3時30分まで

- ① 6月5日(水) 屏風をたてる
- ② 7月24日(水) 即位の場で
- ③ 8月21日(水) 葬送の場で
- ④ 9月18日(水) 出産の場で

日本文化の精華である屏風。大陸から渡来した屏風は、やがて生活の中のさまざまな局面で用いられるようになります。本講座では、特定の儀礼の場で用いられた屏風の事例を検証します。令和5年度の講座の続きとなる内容ですが、前回ご参加いただいたくない方も、どうぞ気兼ねなくご参加ください。

申込

A. ハガキでの申し込み/ハガキ裏面に、講座名・参加者申込者全員(2人まで)の郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢(学年)・電話番号を明記の上、申し込み。5月8日(水)必着。

申込先/〒444-0002 岡崎市高隆寺町字峠1番地 岡崎市美術博物館「屏風のはなし」係

B. ネットからの申し込み/当館ホームページから「岡崎市電子申請」にて申し込み。5月8日(水)締切。



Homepage